

令和5年度 藤沢支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上 (法令順守・服務、 規律の徹底)【必須】	公務外においても公務員・ 教員としての自覚を持ち行 動する。	・不祥事防止啓発・点検資料を基に、アンケートシ ステムを活用し、毎月各自点検、再確認することで、公 務員としての自覚を促した。臨任対象の研修会を実 施し、法令順守、服務、規律の徹底を図った。
職場のハラスメント(パワ ハラ、セクハラ、マタハラ 等)の防止【必須】	他者の人格を尊重した言 動・行動を心がけ、働きやす い職場環境を作る。	・他者の状況や考えに思いをはせ、尊重することを全 職員で共有することにより、他者の人権を尊重した発 信・行動を促し、人権意識の向上に努めた。
児童・生徒に対するわい せつ・セクハラ行為の防 止【必須】	児童生徒の意思や尊厳を 守り、指導体制や環境を整 え、適切な対応、指導を行 う。	・不祥事防止研修を通して、児童生徒の人権を尊重 した支援、指導の徹底と意識啓発に取り組んだ。自 己点検シートを活用し、一人ひとりが自分のこととして とらえる機会とした。指導体制や環境整備について、グ ループミーティングを通して検討し、改善を図った。
体罰・不適切な指導の 防止【必須】	児童生徒の人権を尊重した 支援、指導をチームで行う。	・具体的な事例を基に、体罰、不適切な指導につい て理解を深めた。個別教育計画をもとに、指導の手立 てを共有し、チームで指導・支援にあたることにより、体 罰、不適切指導の防止に努めた。
入学者選抜、成績処理 及び進路関係書類 の作成及び取扱いに係 る事故防止【必須】	個別教育計画・進路関係 書類等の作成・保管・廃棄 を適切に行う。	・個別教育計画の作成・保管・廃棄について、年度初 めに各学部でその手順を確認し、適切に行った。施錠 できる保管庫での保管、持ち出し手続きと持ち出しの 範囲を明確にし、安全な管理を継続した。 ・進路先への提出書類について、業務が適切に行わ れているか、複数人で確認することを継続した。
個人情報等の管理、 情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と 運用により信頼性の高い 業務の遂行を図る。	・情報セキュリティに関する研修を実施し、個人情報の 適切な取扱いについて職員の理解を深めた。 ・個人情報の校外持ち出しの手続き、メールアドレス 等の取得・管理等、個人情報の取扱いについてルールを 周知、徹底することで、個人情報を取り扱う意識を高 め、事故防止に努めた。
交通事故防止、酒酔 い・酒気帯び運転防 止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の 未然防止及び飲酒運転ゼ ロを継続する。	・交通事故防止、交通法規の順守について、具体的 事例を用い、起こりうる内容を全職員で共有し、安全 運転の励行、交通法規の遵守・事故の際のとりべき 行動等について、全職員で確認した。
風通しの良い職場づくり	同僚性の醸成と報告・連 絡・相談の徹底、相互チエ ック体制、業務協力体制づ くりを進める。	・グループミーティングや相手の立場を尊重したコミュニ ケーションの手法を活用し、職場での良好な関係づくり について職員の理解を深め、同僚性の向上に努めた。 ・衛生委員会において、産業医の助言をもとに、職場 環境の改善に努め、職員のストレス軽減を図った。
財務事務等の適正執 行	公費及び私費会計の適正 な執行・管理や、備品等の 適正な管理を行う。	会計処理について、マニュアルの手順に従った適切な 処理に加え、複数名で確認を行うことで、事故防止に 努めた。

○ 令和5度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

学校全体として不祥事防止を「自分事」として考える意識づけを継続することに加え、チームで業務を遂行することにより、不祥事を防止することに重点を置いた。教員一人ひとりが教育公務員としての自覚を持ち業務にあたるとともに、業務の進捗をチームで共有、確認することにより、個人の視点から、「私と同僚」、「藤沢支援学校」と視点を広げ、組織的な取り組みを実施した。

計画的な研修の実施や各学部でテーマごとの討議などに対し、多くの職員が前向きに取り組み、不祥事防止ゼロプログラムの年度当初の目標を概ね達成した。

令和6年度は、児童・生徒が安心して学ぶことができるよう、「児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止」「体罰・不適切な指導の防止」に、引き続き丁寧に取り組む。

また、多くの職員が入れ替わることから、「職場のハラスメント防止」「風通しのよい職場づくり」を通してより良い組織づくりを進めるとともに、児童・生徒に向かう時間を確保するたに。業務改善の取組を進めていく。